

日本看護協会は、国民への質の高い医療の提供を目的に資格認定制度を創設し、28年が経ちました。特定の専門看護分野の知識・技術を深め、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的として14分野・3,316名の専門看護師と、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的に40分野・24,096名の認定看護師を社会に送りだしています。その中には、特定行為研修を組み込んだ新たな認定看護師教育制度で学んだ認定看護師が3,745名※います（2023年12月現在）。宮崎県内では、専門看護師12名（3分野）と認定看護師172名（28分野）が活動し、特定行為研修を修了した認定看護師は18名※となり、より専門性の高い看護を提供しています。

宮崎県看護協会は、県民の皆様に関内でも活動する専門看護師・認定看護師の活動を広く知っていただき、皆様のお役に立てるような情報を発信する活動を行っています。（※再掲）

「赤ちゃんの成長発達のためのケア」

宮崎県立延岡病院 新生児集中ケア認定看護師 山田奈緒美



宮崎県内にはNICUを有する施設があり、県内の新生児医療に携わっています。県内3か所にある県立病院でも新生児への治療や看護を行っています。

NICUには、予定より早く生まれた赤ちゃんや小さく産まれた赤ちゃん、様々な理由で治療が必要な赤ちゃん達が入院しています。NICUは治療や検査が行われるイメージが強いと思いますが、入院する赤ちゃん達にとって過ごしやすい環境作りも大切です。そのケアが良好な成長発達を促進するための個別的なケア、ディベロップメンタルケアと呼ばれるものです。

ディベロップメンタルケアには、音と光を調整するケアや、赤ちゃんを優しく包み込みお母さんのお腹の中に近い環境にするケア、治療などの痛みを和らげるためのケアなどがあります。赤ちゃんは言葉を発することはできませんが、表情や身体の動きで気持ちを表現してくれます。私達看護師は赤ちゃんに触れ、赤ちゃんの反応を観察し、一人一人に合ったケアを行えるよう日々考えています。

NICUは家族の始まりの場でもあります。ご家族と赤ちゃんが過ごしやすい環境で、家族としての関係を育みながら過ごせるようサポートさせていただきます。

世界早産児デーをご存知ですか？

11月17日は世界早産児デーです。早く生まれた赤ちゃん達とご家族が抱える課題や負担に対する意識を高めることを目的に制定されたものです。シンボルカラーは紫色で、赤ちゃんにご家族を応援する気持ちを表しています。

世界各地のモニュメントが紫色にライトアップされ、宮崎県庁もライトアップされました。

